施策評価シート

施策等名称	自然の恵みを大切に受け継ぐまち　－良好な自然環境の確保－	体系番号	0301010101
		主管課	環境課

1　施策基本情報

現状と課題	私たちの生活や事業活動は、地下水かん養や洪水調節、生物多様性保全、景観形成、資源供給等といったさまざまな自然の持つ環境保全機能に支えられている。そのため、土地開発や河川改修などの人為的行為が自然環境へ及ぼす影響を回避あるいは低減し、自然の持つ機能が損なわれないよう十分な配慮が必要とされている。 茅野市の良好な自然環境を確保するために、近年市内での繁茂が確認されているアレチウリ等の特定外来植物の防除や水資源の保全、そして里山をはじめとする森林の保全に努めることが求められている。
めざす将来像（あるべき姿、基本的な考え方）	多様な動植物が生息・生育する環境や、良質な里山、農地、水資源を保全し、人と自然が共生する健全な地域生態系がもたらす自然の恵みを将来にわたって享受することができるまちを目指します。

施策指標

	指標名称	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値
①	茅野市の環境に満足している市民の割合	茅野市の環境に満足している市民の割合（市民アンケート）（%）	52.20	56.00 60.00
②	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数（人）	145.00	160.00 175.00
③	里山づくりイベント参加人数	市民の森、永明寺山ふれあいの森で実施するイベントへの参加人数（人）	195.00	205.00 215.00

施策の体系

施策の柱1

名称	自然と人が共生する地域生態系の保全	主管課	環境課
詳細	貴重な生物、多様な生物が生息・生育できる優れた自然や身近な自然を保全する。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値		柱を構成する主要事務事業	区分
1	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数（人）	145.00	160.00 175.00	1	環境保全対策事業	実施
2	グリーンパートナー年間活動延べ日数	グリーンパートナー年間活動延べ日数（日）	202.00	210.00 220.00	2		
3					3		
					4		
					5		
					6		

基本政策間連携

施策の柱2

名称	健全な自然環境に寄与する森林、農地の保全	主管課	環境課
詳細	森林や農地を保護・育成し、緑が持つ自然環境保全機能を保全し、活用する。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値		柱を構成する主要事務事業	区分
1	里山づくりイベント参加人数	市民の森、永明寺山ふれあいの森で実施するイベントへの参加人数（人）	195.00	205.00 215.00	1	里山づくり支援事業	実施
2					2		
3					3		
					4		
					5		
					6		

基本政策間連携

施策の柱3

名称	豊富で良質な水資源の保全	主管課	環境課
詳細	健全な水循環の促進、豊かな水資源の保全と、その有効活用を図る。		

	まちづくりの目標指標	指標の説明（単位）	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値		柱を構成する主要事務事業	区分
1	地下水賦存量調査	湧水量調査及び地下水位調査	実施	実施 実施	1	水資源・水環境保全対策事業	実施
2					2		
3					3		
					4		
					5		
					6		

基本政策間連携

施策等名称	自然の恵みを大切に受け継ぐまち　ー良好な自然環境の確保-	体系番号	0301010101
		主管課	環境課

2　指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
指標No.		中間目標値	実績値　／　達成率（実績値÷目標値）					
施策	茅野市の環境に満足している市民の割合	52.20	52.20	52.20	52.20	52.20	52.20	52.20
1		56.00	93.21	93.21	93.21	93.21	93.21	93.21
変動要因等 2018年度	未実施のため計画策定時と同一値。中間見直しの際にアンケート実施する予定。							
変動要因等 2019年度	未実施のため計画策定時と同一値。中間見直しの際にアンケート実施する予定。							
変動要因等 2020年度	未実施のため計画策定時と同一値。中間見直しの際にアンケート実施する予定。							
変動要因等 2021年度	未実施のため計画策定時と同一値。中間見直しの際にアンケート実施する予定。							
変動要因等 2022年度	未実施のため計画策定時と同一値。今後は第6次総合計画に則した方針に追従することとなる。							
変動要因等 2023年度	未実施のため計画策定時と同一値。今後は第6次総合計画に則した方針に追従することとなる。							
施策	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数	145	182	225	136	106	145	182
2		160	113.75	140.63	85.00	66.25	90.63	113.75
変動要因等 2018年度	外来生物駆除作業への協力呼びかけによる参加者の増。							
変動要因等 2019年度	外来生物駆除作業への協力呼びかけによる参加者の増。							
変動要因等 2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動に制約もあったが、コロナ禍に対応した活動を創出することができた。							
変動要因等 2021年度	新型コロナウィルス対策のため行事中止による減。							
変動要因等 2022年度	新型コロナウィルス対策の緩和による増。							
変動要因等 2023年度	協力団体の参加者数増加による増。							
施策	里山づくりイベント参加人数	195	205	199	81	36	231	206
3		205	100.00	97.07	39.51	17.56	112.68	100.49
変動要因等 2018年度	小学校との連携を強化できたことによる増。							
変動要因等 2019年度	雨天順延による参加者の微減。							
変動要因等 2020年度	新型コロナウィルス対策のため行事中止及び縮小開催による減。							
変動要因等 2021年度	新型コロナウィルス対策のため行事中止及び縮小開催による減。							
変動要因等 2022年度	新型コロナウィルス対策の緩和による増。							
変動要因等 2023年度	学校行事から外れたことによる減							
柱1	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数	145	182	225	136	106	145	182
1		160	113.75	140.63	85.00	66.25	90.63	113.75
変動要因等 2018年度	外来生物駆除作業への協力呼びかけによる参加者の増。							
変動要因等 2019年度	外来生物駆除作業への協力呼びかけによる参加者の増。							
変動要因等 2020年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動に制約もあったが、コロナ禍に対応した活動を創出することができた。							
変動要因等 2021年度	新型コロナウィルス対策のため行事中止による減。							
変動要因等 2022年度	新型コロナウィルス対策の緩和による増。							
変動要因等 2023年度	協力団体の参加者数増加による増。							
柱1	グリーンパートナー年間活動延べ日数	202	210	218	197	221	241	325
2		210	100.00	103.81	93.81	105.24	114.76	154.76
変動要因等 2018年度	会員個人による活動、合同グリーンパトロールを計画どおりにに実施できた。							
変動要因等 2019年度	会員個人による活動、合同グリーンパトロールを計画どおりにに実施できた。							
変動要因等 2020年度	新型コロナウィルス対策の活動自粛による微減。							
変動要因等 2021年度	会員数の増加。							
変動要因等 2022年度	会員数の増加による増。							
変動要因等 2023年度	会員数増加と会員一人当たりの活動日数増加による増。							
柱2	里山づくりイベント参加人数	195	205	199	81	36	231	206
2		205	100.00	97.07	39.51	17.56	112.68	100.49
変動要因等 2018年度	小学校との連携を強化できたことによる増。							
変動要因等 2019年度	雨天順延による参加者の微減。							
変動要因等 2020年度	新型コロナウィルス対策のため行事中止及び縮小開催による減。							
変動要因等 2021年度	新型コロナウィルス対策のため行事中止及び縮小開催による減。							
変動要因等 2022年度	新型コロナウィルス対策の緩和による増。							
変動要因等 2023年度	小学校行事から外れたことによる減							

施策等名称	自然の恵みを大切に受け継ぐまち　ー良好な自然環境の確保-	体系番号	0301010101
		所管課	環境課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		中間目標値	実績値　／　達成率(実績値÷目標値)					
柱3	地下水賦存量調査	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
1		実施	達成	達成	達成	達成	達成	達成

変動要因等		
	2018年度	計画どおりに実施できた。
	2019年度	計画どおりに実施できた。
	2020年度	計画どおりに実施できた。
	2021年度	計画どおりに実施できた。
	2022年度	計画どおりに実施できた。
	2023年度	計画どおりに実施できた。

施策等名称	自然の恵みを大切に受け継ぐまち　－良好な自然環境の確保－	体系番号	0301010101
		主管課	環境課

3　評価・改革改善　　（単位：円）

項目		2018年（前年度比）		2019年（前年度比）		2020年（前年度比）		2021年（前年度比）		2022年（前年度比）		2018年～2023年（総括）	
評価 投資額（2018年～2023年(総括)については2023年の実績を記載）	事業費(円)	6,248,903		6,489,054	1.04	5,224,319	0.81	5,001,878	0.96	5,278,245	1.06	5,011,528	0.95
	うち一財(円)	6,176,849		6,463,919	1.05	5,082,703	0.79	4,911,123	0.97	5,185,510	1.06	4,922,743	0.95
	増減理由（一般財源前年度比±10%以上の場合に記載）					新型コロナウィルス対策による各種取組の自粛。							
進捗評価		順調		順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調	
総合評価	主な取組内容や成果	施策の柱1～2の指標は自然の恵みを大切に受け継いでいくためのそれぞれの施策の担い手となりうる市民の数だと考えており、関係機関との連携を密にしたことで概ね目標を達成できた。		施策の柱1～2の指標は自然の恵みを大切に受け継いでいくためのそれぞれの施策の担い手となりうる市民の数だと考えており、関係機関との連携を密にしたことで概ね目標を達成できた。		新型コロナウィルス感染症対策のため行事を中止や縮小せざるを得なかった。その中で、小康期には適切な感染症対策を講じながらいくつかの行事を実施できたことは次年度につながる。		新型コロナウィルス感染症対策のため行事を中止や縮小せざるを得なかった。その中で、小康期には適切な感染症対策を講じながらいくつかの行事を実施できたことは次年度につながる。		コロナウィルス感染症対策が落ち着いてきた為、行事の再開が進められている。		市民参加による山岳の美化活動、里山の森林保全、里地の外来種駆除などを継続的に取り組むことができた。 地域の景観保全等のために条例を改正し、野立て太陽光発電設備の設置を抑制した。	
	課題	人口減に向かう社会において、さまざまな分野において市民団体の中核世代が高齢化している。次世代の育成、引継が大きな課題である。		人口減に向かう社会において、さまざまな分野において市民団体の中核世代が高齢化している。次世代の育成、引継が大きな課題である。		新型コロナウィルス感染症対策の収束が見えない中において、対策を講じながら取組を推進できる有効な手段を見出していけるかが大きな課題である。		新型コロナウィルス感染症対策の収束が見えない中において、対策を講じながら取組を推進できる有効な手段を見出していけるかが大きな課題である。		新型コロナウィルス感染症の行動制限緩和により、団体活動が再開できるようになったが、一度停滞した活動を従前どおりに戻すことは容易ではない状況にある。		コロナ後のイベント活動は再開しているが、各団体の会員の高齢化や担い手不足が深刻化している。 会の中心となっている方が固定化されており、会と一緒に年を重ねてしまっている状況である。活動団体を長期的に維持するには担い手の新規参入が欠かせない。	
改革・改善 改革・改善内容		市民団体と担い手確保に向けた取組手法を検討し、新たな担い手を確保する。		市民団体と担い手確保に向けた取組手法を検討し、新たな担い手を確保する。		感染症対策を十分に講じる中で関係者との協議を経て各種取組を推進していく。		感染症対策を十分に講じる中で関係者との協議を経て各種取組を推進していく。		持続可能な活動団体に向けて、活動の在り方や方向性を含めた検討をする。		イベントの参加に繋がる参加者が楽しめるような内容を検討し、継続的な情報発信に取り組んでいく。里山のイベントも米沢と永明、両方の小学校に対してメール等の周知を行い、参加者の増加を狙う。	
施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	2		2		2		2		2		2	
	重点事務事業	1		1		1		1		1		1	
	理由	自然の恵みを大切に引き継いでいくには、自然環境の適切な維持管理が欠かせない。里山は市民生活に隣接しており、良好な自然環境を確保する目的に合致するため。		自然の恵みを大切に引き継いでいくには、自然環境の適切な維持管理が欠かせない。里山は市民生活に隣接しており、良好な自然環境を確保する目的に合致するため。		自然の恵みを大切に引き継いでいくには、自然環境の適切な維持管理が欠かせない。里山は市民生活に隣接しており、良好な自然環境を確保する目的に合致するため。		自然の恵みを大切に引き継いでいくには、自然環境の適切な維持管理が欠かせない。里山は市民生活に隣接しており、良好な自然環境を確保する目的に合致するため。		自然の恵みを大切に引き継いでいくには、行政だけでは限界があり、引き続き、市民参加による取組が欠かせないため。		自然の恵みを大切に引き継いでいくには、行政だけでは限界があり、市民の自主的な活動と参加によって支えられているので、継続的な側面支援が必要なため。	

作成担当者	朝倉　健太	朝倉　健太	朝倉　健太	朝倉　健太	清水　満	清水　満
最終評価責任者	堀内　俊彦	岩島　善俊	岩島　善俊	小平　雅文	小平　雅文	平沢　幸人
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月30日	2023年10月19日	2024年6月28日